

- 2018年度EDU-Portシンポジウム -

ミャンマーにおける自動車整備士育成のための 実践的 日本型専門学校教育システムと カリキュラムの普及

2019-03-07

株式会社ジャイアントリープ・インターナショナル

瀬戸川教彦

事業の背景

ミャンマー連邦共和国

- 新政権となり内外の投資が活況
- 多くの分野で実践的技能を持つ人財の不足に直面
- 特に急激な輸入や国内生産が始まった自動車分野で専門的な知識を持った技術者が払底
- 国の施策として技能標準策定が進み日本も公式に支援

人財育成における課題

- これまで高度な技能労働者を育成する専門的かつ実践的な職業訓練校無し
- 諸外国からの支援も大学等の高等教育機関や政府機関の幹部に対する人財育成に重点
- 産業人財とりわけ実践的な技術を有する中核人財の育成支援は弱かった

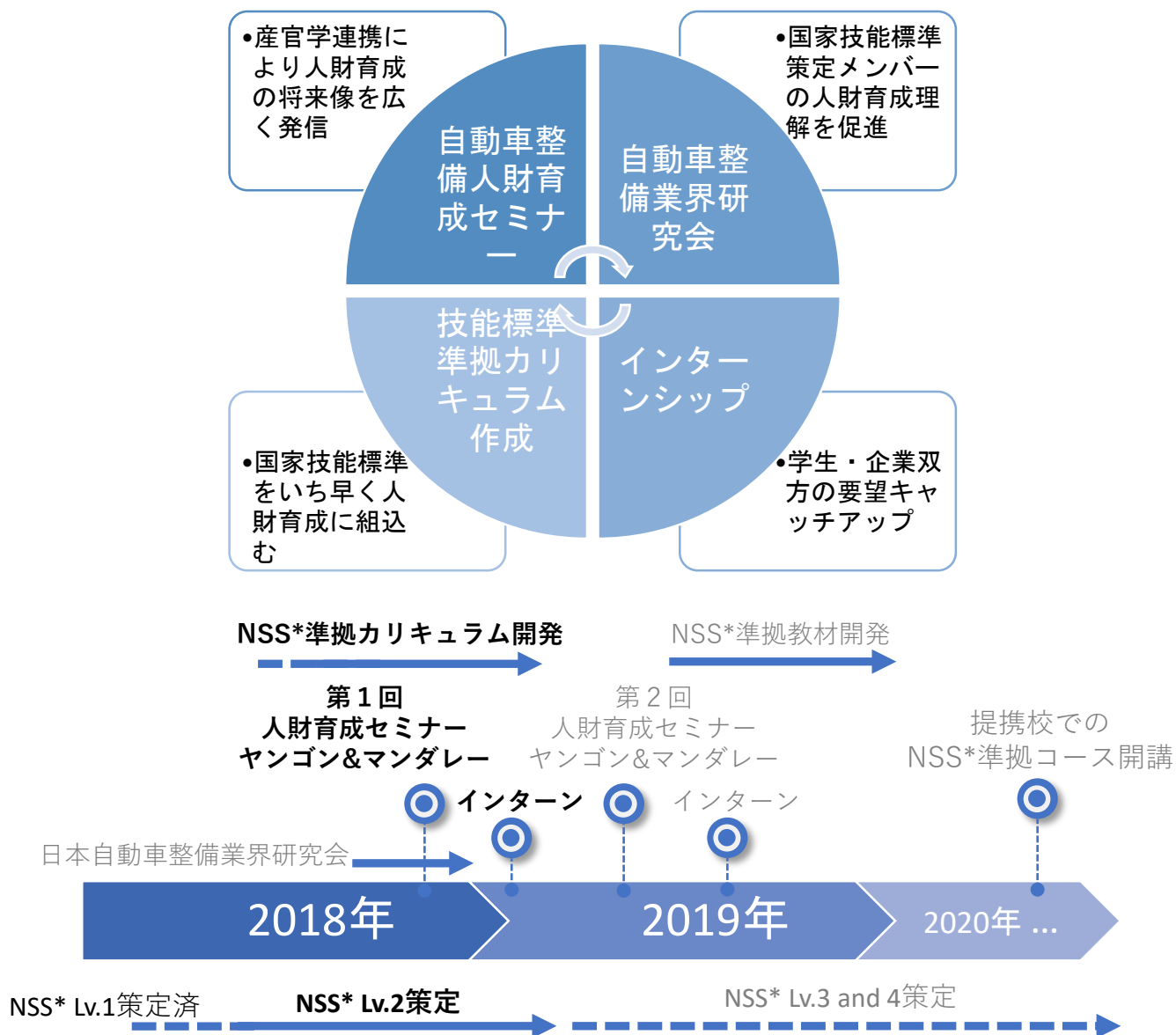
EDU-Port事業に先行する取組み

2014年から現地校と日本の専門学校（岡山科学技術学園）提携による自動車整備士育成の教育事業を実施



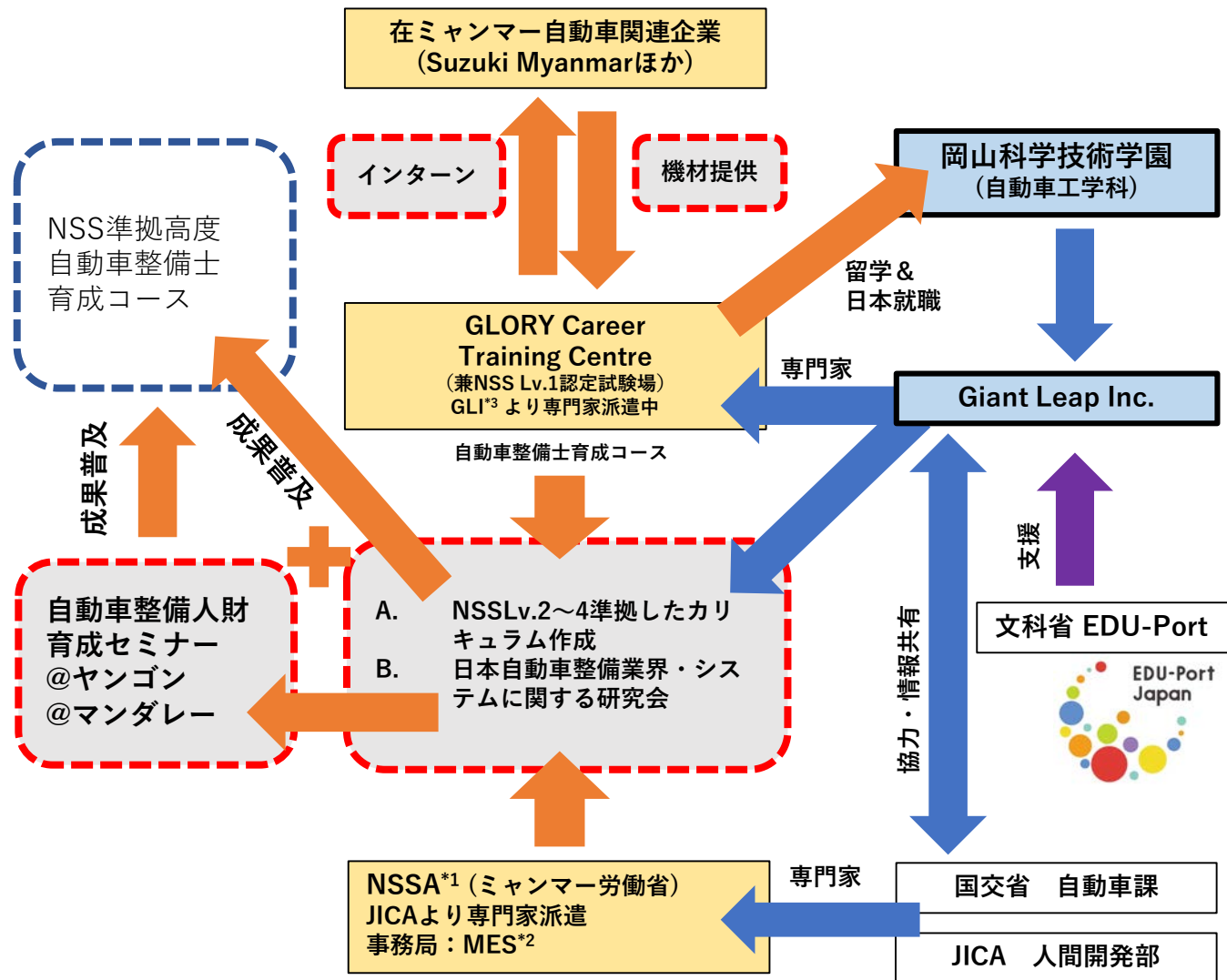
国家技能標準に基く職業技術教育の実現へ

事業の概要



日本-ミャンマー産官学をまたいだ実施体制

事業の概要



事業範囲/活動内容

2018-2019年度：第一フェーズ

2020年度以降：第二フェーズ

現地側協力機関

日本側代表/参加機関

日本側支援機関

*1 NSSA : National Skill Standards Authority

*2 MES : Myanmar Engineering Society

*3 GLI : Giant Leap International, Inc.

日本-ミャンマー両国の人財育成取組状況を幅広く紹介

今年度の活動とアウトプット

産官学連携 人財育成 セミナー

ヤンゴンおよびマンダレー
二大都市圏で開催

参加者約300名

- ・ 現地所轄官庁職員
- ・ 工学系教育機関
- ・ 自動車関連業界の方々
- ・ 自動車分野に興味を持つ学生



講演者

- ・ 国交省自動車課担当官
- ・ JICA派遣専門家（NSSA*1在籍）
- ・ 日系自動車企業現地法人幹部
- ・ NSSA*1代表



- ・ 国家機関による技術標準の整備と認定制度
- ・ 認定教育機関による技術者育成
- ・ 産業界での有資格者就労受入とその待遇
- ・ NSS*2技術認定制度構築の取組み状況と将来像



EDU-Port Japan
2018 Certified Project
HRD Seminar on
Automotive Services & Maintenance
Yangon 14th DEC(Fri)
Mandalay 17th DEC(Mon)

Guest Speakers & Topics

Giant Leap International, Inc.

*1 NSSA : National Skill Standards Authority

*2 NSS : National Skill Standard

人財活躍の現場を体験

- ・ 企業側および教育側双方の声を技術標準策定に反映
- ・ 学生、企業双方から教育に求められる実像を把握

今年度の活動とアウトプット

インターンシップ



現地提携校上級コース学生14名

- ・ 実業の場で求められる技術の把握と確認
- ・ 高度な作業環境の体験
- ・ 就業先候補としての将来性確認



自動車関連企業（6社/7拠点）

- ・ 高度な技術習得に必要な機材提供
- ・ 教育機関に対する人財育成要望
- ・ 将来の人財確保

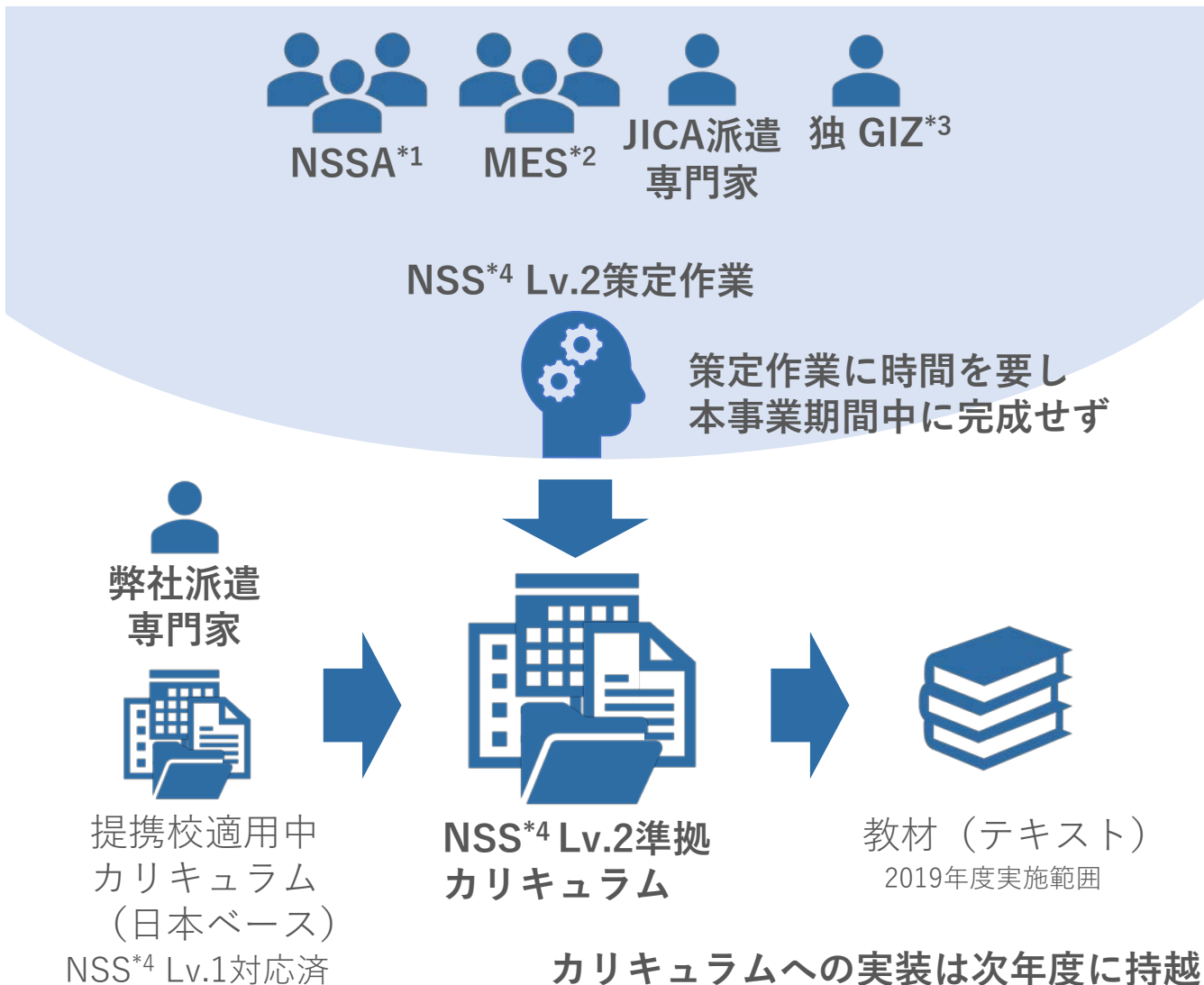


- ・ 受け入れ企業における高いレベルでの技術教育の重要性認識促進
- ・ 接客能力など職業人としてのスキル育成も高く評価

国家標準に基づいた人財育成カリキュラム

今年度の活動とアウトプット

カリキュラム作成



*1 NSSA : National Skill Standards Authority

*2 MES : Myanmar Engineering Society

*3 GIZ : Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (ドイツ国際協力公社)

*4 NSS : National Skill Standard

© Giant Leap International, Inc. 2019

職業人としての人財育成

- 日本における自動車産業の発展と共に、そこで働く高度技能を有する職業人の養成機関として発達したシステム
- 国の定める技能標準を人財育成に実装する実績を持つ
- 企業の要望する人財像を把握した教育実施

日本型教育 としての魅力



成果と教訓

活動成果・結果サマリーまたは教訓

- **産官学約300名**に対し国家技能標準と人財育成、特に日本型専門学校教育の有効性について広く広報
- **自動車関連企業6社**で**学生14名**のインターン実施し、企業側での教育重要性理解深まり奨学金制度実現
- 現地政府機関の人財育成に対する課題への解決策を提示
- NSS Lv.2のカリキュラムへの実装は完了出来ず

反省点および今後の課題

- 産官での認識は高まったが、提携校以外の教育機関へのアプローチが不十分
- インターン先は日系関連企業と比較的条件の良い環境。より広く現地実情に沿った声を集めるため、現地企業への一層の働きかけが必要
- 現地自動車整備以外の分野の職業訓練校から、日本の専門学校との提携要望が高まりつつあるが、対応できておらず

技能標準－教育－雇用が三位一体の社会

今後への期待感

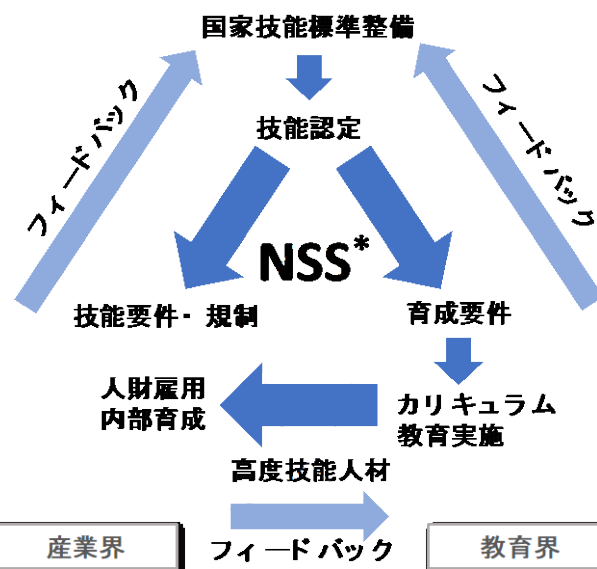
- JICAをはじめ日本側の高度な実践的職業訓練の支援強化は、日本型教育として特徴のある専門学校の教育システムに対する関心の高まりを期待
- 特に日本の“ものづくり”を支える中核人材の供給を行ってきた専門学校教育は、工業化の初期段階にあるミャンマーにとっては今後奨励すべき教育システムになりうる

今後の展望



官界

社会的人財育成サイクルへの展望



自動車メーカー、車体整備企業など

工業系大学、専門学校など

- 国家技能標準に準拠した教育コースを実現
- ミャンマー政府機関による同教育コースの認定
- 同コース実施機関を公式な養成施設として認定

本事業はそのための重要な第一歩として推進していく



THANK YOU!

"That's one small step for a man, one giant leap for mankind."

 edu-port@giantleap-intl.com